

osmoseとは

OpenStreetMapのvalidationツールのひとつ

12~24時間ごとに世界中のOSMデータを分析し、問題のある箇所をマークしてくれる

→ただ、検出された問題が正しいとは限らない

問題があると判明されたら、修正するための編集ツールを表示してくれる

Osmoseの特徴

1. インターフェースは多くの言語に翻訳されている
2. 多くのアラートタイプがあり、様々なカテゴリーに従ってフィルタリングすることができ、必要に応じて、それぞれのアラートに対して詳細にヘルプが提供される
3. 全世界を対象と(国際水域を含む)しているが、各コンテキストの特徴(アクセントのない単語の検出、利用可能な画像の品質、第三者のデータの利用可能性などの言語固有の特徴)に応じて地域化されており、Osmoseチームに連絡して新しい機能を追加することも可能
4. 編集したオブジェクトの報告書にアクセスできる機能
5. IDやJOSMのような外部のOSMエディタを使用せず、OSMアカウントから、属性にリンクされた特定の確認済みのアラートを直接解決可能
6. インターフェイス、またはAPIを介して、異なるフォーマットでアラートを出力できる機能

Osmoseの使い方

- 編集したい場所を探すには、場所の名前を検索のここに入力するのが一番早い!
- 虫眼鏡の黒い部分は、アラートを見るためにさらに拡大する必要があると示している
- マップを移動すると、OsmoseのURLにズームレベルとマップ中心の座標が表示される

フィルターの使用

左のパネルにはたくさんのフィルタリングオプションがあり、

- 重要度別
- Osmoseが提案する修正箇所
- 国、OSM ID

これらのフィルターとアラートはUN Mappersのある一部のプロジェクトに役立つ

重要度(Severity)→Allを選択

アラートタイプ→sudden highway type change/broken highway continuity/approximate way/ not-connected highway·cycleway/waterway/duplicate geometry/objects intersection

情報の表示

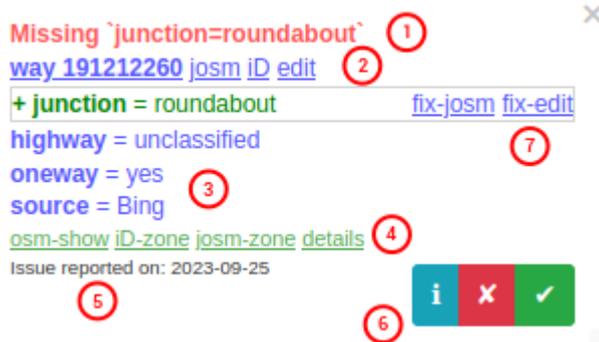
アラート(地図上の位置情報)のマークをクリックすると、その場所の情報が表示される

表示される情報は:

1. アラートタイプと問題箇所の端的な説明
2. 問題箇所を修正するためのOSMのリンクまたはJOSM, ID.Osmose editorのリンク
3. オブジェクトの全てのタグリスト
4. オブジェクト近辺の地域にアクセスするリンク
5. 問題が最後に報告された日付
6. 3つのボタン
  - a. i→アラートの種類の詳しい説明、時々「修正方法」または「避けるべきもの」が表示され、解析コードへのリンクを含むサイドパネルの表示
  - b. x→誤検出だった場合

c. ✓→修正済み

7. JOSMまたはOsmoseのタグエディタで直接修正できるタグの候補(+で追加、-で削除、~で修正)



Osmoseタグエディタ

表示されるポップアップの”fix-data”リンクをクリックする

赤の-→削除を提案

緑の+→追加を提案

オレンジ~→編集者が値の変更を提案

黒=→変更されない

提案された修正から、修正するタグをクリックするか、提案されたタグのアクションをキャンセルする×か←をクリックすることで、全てのタグに変更を加えられる。

タグの右側をクリックして入力することで、最後の空行に新しいタグも追加可能

タグの変更が正しく表示されたら、”Done”を押す

ウィンドウの丈夫に、エディタで行った変更がまだOSMデータにアップロードされていないことを示すボタンが表示される

これをクリックすると、

You must be logged in to use the tag editor

[Login](#)

Save  
changeset

Objects edited

1

Comment

Fixed with Osmose

Source

Type

fix

Reuse changeset

Cancel Save

これが表示される(OSMアカウントにログイン必須)